

野底ついでんたら祭り実行委員会

集落
部門

民謡ついでんたら節を歌い継ぐ新たなふるさとづくり (平成24年度認定)



石垣島の北部に位置している野底は、各種補助事業が導入されており、さとうきび等の生産が盛んな農村地域となっている。野底は現在、畑地かんがい整備の要望があり、今後の農業展開が期待される。

その中で、地元住民からなる野底ついでんたら祭り実行委員会は、平成16年度より「ついでんたら祭り」を開催している。ついでんたら節は、琉球王朝時代の黒島からの強制移住に伴う、野底で誕生した悲恋の物語の唄である。その当時の村はマラリア等の病気によって廃村となり、現在の野底は戦後の計画移民と本土からの移住者で構成された、伊土名・多良間・下地・兼城・栄の5集落で形成されている。

このように野底は比較的新しく形成された地区であり、5つの各集落間や住民達の繋がりを深め、皆が野底住民としての認識を持つとともに、子ども達への文化の継承のために野底の唄であるついでんたら節を祭りのテーマとしている。祭りでは、野底のみならず同じ石垣島北部地域である伊原間や平久保、八重山地域の黒島からの参加者もあり、本会は地域内外の交流にも寄与している。

このように、ついでんたら祭りの開催や野底住民としての意識の共有、次世代へのついでんたら節の継承等、【民謡ついでんたら節を歌い継ぐ新たなふるさとづくり】に取り組んでいる。



会場の様子



たねまき音頭(野底幼稚園)



獅子舞(平久保小学校)



旗頭(伊原間中学校)



黒島からも参加



地元のグルクンを唐揚げにし販売